

軟弱地盤 な ど 地盤条件選ばない

住宅、非住宅で採用広がる

兼松日産農 林(東京都、道から九州まで地域で高崎實社長)は、地盤補強材にコンクリートや鋼材ではない木杭「環境パイル」の普及に努めている。環境パイルは木材を利用した地盤補強工法として初めて第三者証明を取得しており、環境パイルS工法協会を組織して全国展開を目指している。

く、環境パイルを供給する同社の自社工場や提携工場の生産拠点の整備も進めている。さらに住宅だけでなく、保育園や学校、庁舎など公共・民間建築物の地盤補強への採用も増えている。また、軟弱地盤から家などを守る木杭の新工法として環境パイルS工法が注目されてきた。

兼松日産農林

兼松日産農 林(東京都、道から九州まで地域で高崎實社長)は、地盤補強材にコンクリートや鋼材ではない木杭「環境パイル」の普及に努めている。環境パイルは木材を利用した地盤補強工法として初めて第三者証明を取得しており、環境パイルS工法協会を組織して全国展開を目指している。



同社施工の公共物件、相馬市役所南庁舎の建設工事に木杭の環境パイルが採用

年4月、13年3月)だ。地震被害は上屋の耐震化や躯体の構造計算00件を超えて、前期の530件から倍増している。大手住宅メーカーの標準採用が進み、普及も拍車がかかってきた。6個クロム等による環境汚染がない薬剤を使用する。セメントが固まりに

入する)の介在が確認され、不同沈下が懸念されるため、数ある地盤改良工法のなかから環境パイルを採用した。工期が他工法に比べて約半分、施工の可能なことと、残土の発生がない工法のためコストが廉価で環境的に優れている点が評価された。